

# シールドコートZERO 施工手順説明書

## 施工前の注意点

- 汚れや異物がついたスポンジやクロスは使用しないで下さい。
- フィルム貼りや着色・コーティングなどの処理・物理的な加工を表面に施したシールドには使用できない場合があります。
- すべての液剤は、塗ったまま長時間放置しないで下さい。
- 下地処理を充分に行わずに撥水加工した場合、性能が充分に発揮できない可能性があります。

## 準備するもの



●シールドコート ZERO



●シールドクリーナー



●研磨スponジ



●塗り込みスponジ



●拭き取り用クロス



●仕上げ用クロス

## 施工方法

※施工するシールド表面の砂や泥等の汚れを、きれいに洗い流してから作業して下さい。

※施工対象物の状況により、マスキング作業を行って下さい。



1 研磨スponジ(黒い面)を軽く水で濡らし、  
シールドクリーナーZERO(シールド専用油膜除  
去剤)を適量付けます。



2 シールドを磨きます。油膜が除去できている  
事を確認しながら磨いてください。

液ののびが悪くなったら霧吹き等で適時補水し  
て下さい。

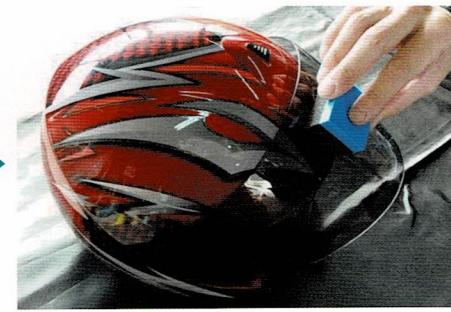


3 液剤が残らないよう、水でよく灌ぎます。  
クロスで水分を完全に拭き取ってください。

水で洗い流す方法がベストですが、絞りクロスで  
液剤を拭き取る方法でも大丈夫です。



4 シールドコート ZERO をよく振って中身を搅拌  
し、塗り込みスponジに5~10滴付けます。  
初回はスponジの吸い込みがあるため、十分  
に浸るくらい付けてください。



5 シールド面に塗り込みます。  
縦方向にまんべんなく塗り、次に横方向に塗り  
伸ばし、再度縦方向に塗り伸ばし、塗りムラをな  
くします。(液が足りなければ補充してください)



6 乾燥させずにすぐ乾いたクロスで拭き上げます。  
シールド内側から拭き残しがないことを確認して  
ください。

施工後は 12 時間以上濡らさないでください。



Before

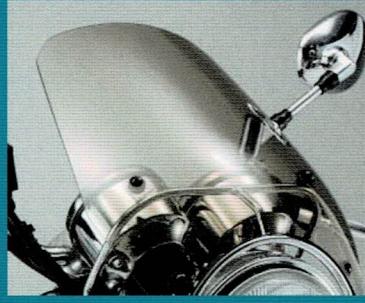


After

バイクのミラーや自動車のサイドミラーにも使用できます。

撥水効果で視界良好。

※油膜除去をしてからコーティング施工してください。



スクリーン(風防)やゴーグルにも使用できます。

※着色・物理的な加工が施してあるものには施工しないで下さい。

ヘルメット本体に塗ると、軽い艶が出て、防汚効果もあります。

